

CSB（遠心ボックスカルバート）

(財)土木研究センター・土木系材料技術・技術審査証明第0514号

(T-25対応)

CSBの特長

■高強度です。

遠心成形製法で均一な品質、高い強度を誇り土被り0から高土破りまで広範囲な現場に対応できます。

■経済的です。

現場での補強コンクリートが不要、埋戻しが容易で工期の短縮、工費の削減等従来の工事に比べて大幅な省力化になります。

■継手の水密性に優れています。

継手の形状寸法は、ヒューム管のB形と同じで水密性に優れ、B形管との接合も可能です。

■側溝用もあります。

側溝用として、グレーチングを取り付けたものもあります。



長年の実績が評価されています

当社では、平成7年12月、建設大臣認定期間である(財)土木研究センター「民間開発建設技術審査証明事業」のうち土木系材料技術について審査証を取得しました。

CSB I形



外形が正方形で、 $\Phi 150\sim 1100$ があります。国土交通省制定「土木構造物標準設計」のP3、P4型360°固定基礎対応。

CSB III形



上面に6%の勾配がついており、 $\Phi 250\sim 600$ があります。国土交通省制定「土木構造物標準設計」組み合わせL形側溝PL4型対応。

CSB IV形



外形が上部が半円のアーチ形で、 $\Phi 200\sim 1100$ があります。国土交通省制定「土木構造物標準設計」P2型180°固定基礎対応。

Hi-CSB



I形の角部を上下位置として、超高土破りに対応できる工法です。土圧は、45°の面に均等に作用するので、大きな土圧に耐えられます。

CSB（遠心ボックスカルバート）

(財)土木研究センター・土木系材料技術・技術審査証明第0514号

(T-25対応)

CSBの特長

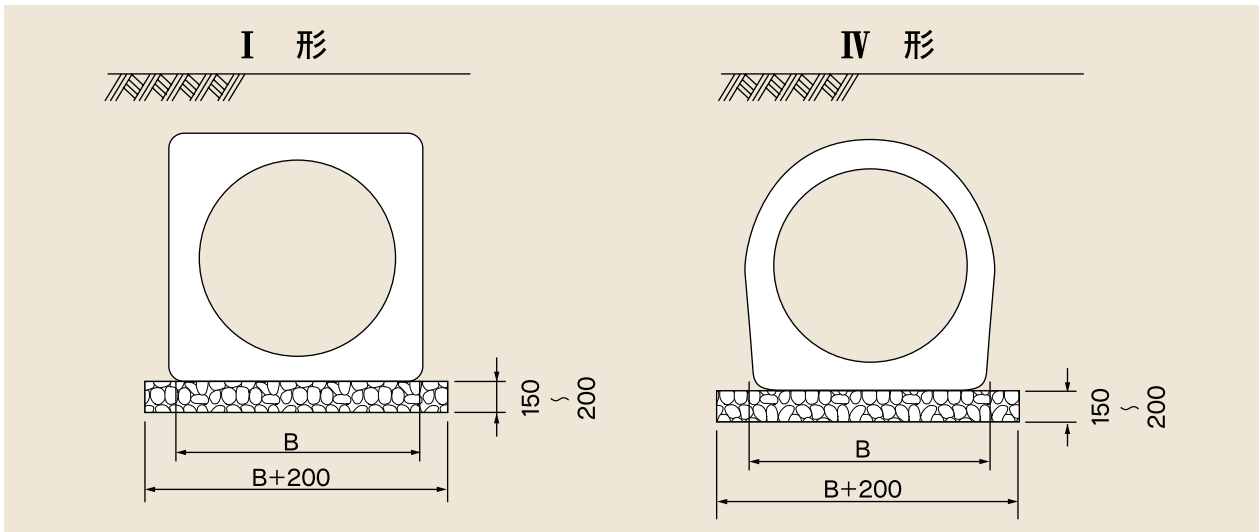
CSB I 形 土被り0以上に対応します。

CSB III 形 土被り0で使用します。

CSB IV 形 土被り0.5m以上に対応します。

Hi-CSB 土被り15~50m以上に使用します。

標準敷設図



基礎コンクリートは不要です

但し、軟弱地盤の場合は、基礎コンクリートが必要です。
その際、コンクリート厚は最小150~200mmとするのが望ましい。

